

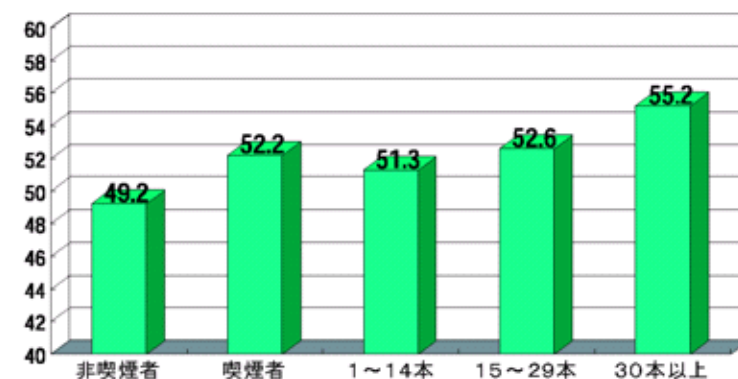
© 厚生労働科学・中村班 2002

喫煙による経済損失

- 国立がんセンターが行ったタバコの収益と損失の試算結果を示したものである。
- 1年間のタバコ消費による税金収入1兆9000億円、タバコ農家の利益100億円、タバコ自動販売機やフィルターの生産企業の利益などが5000億円、収益合計は2兆8000億円弱となっている。
- 一方、喫煙による医療費や早期死亡などによる損失は年間5兆6000億円にも達している。
- したがって差し引き年間2兆8000億円の赤字をもたらしている。
- わが国の年間タバコ消費量は約3000億本だから、喫煙者が1本タバコを吸うと約10円分、社会に負担をかけていることになる。

喫煙習慣と医療費との関連

(万円) <性、年齢、身体活動機能レベルの影響を補正>



対象：宮城県大崎保健所管内の1市13町の国保加入者5万人(40~79歳)
医療費：1995年1月~96年11月分

(辻一郎, 1998)

© 厚生労働科学・中村班 2002

喫煙習慣と医療費との関連

- 東北大学の辻一郎先生が宮城県大崎保健所管内の1市13町の国保加入者5万人を対象に生活習慣と医療費の関係について調べた。
- 非喫煙者が49.2万円に対し、喫煙者全体では52.2万円となっており、その差は約3万円と約6%の増加となっている。
- また、喫煙本数が増えるほど医療費が高く、1日30本以上吸う喫煙者では、非喫煙者に比べて約6万円も高く、約12%も医療費が余分にかかっている。
- なお、これらの医療費は、性、年齢、身体活動機能レベル(「強い運動も可能」から「日常生活要介護」までの7段階による尺度)の影響を補正して喫煙の独自の影響を調べたものである。